

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【公開番号】特開2011-173982(P2011-173982A)

【公開日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-036

【出願番号】特願2010-38459(P2010-38459)

【国際特許分類】

C 0 8 F 290/06 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 290/06

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月8日(2013.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

複数のアクリレート基又はメタクリレート基を有するウレタン樹脂と、
感光性アミド及び/又は感光性アミドの誘導体と、
二重結合を含まない環状骨格を有する二官能アクリレート及び/又は二官能メタクリレートと、
光重合開始剤と、

を含有する活性エネルギー線硬化性樹脂組成物であつて、
前記複数のアクリレート基又はメタクリレート基を有するウレタン樹脂の重量平均分子量が、1,000~20,000の範囲にあることを特徴とする活性エネルギー線硬化性樹脂組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

すなわち、本発明の活性エネルギー線硬化性樹脂組成物は、複数の(メタ)アクリレート基を有するウレタン樹脂、感光性アミド及び/又は感光性アミドの誘導体、二重結合を含まない環状骨格を有する二官能(メタ)アクリレート、及び光重合開始剤を含み、上記複数のアクリレート基又はメタクリレート基を有するウレタン樹脂の重量平均分子量が、1,000~20,000の範囲にあることを特徴とする。

また、この感光性アミド及び/又は感光性アミドの誘導体が、N-(2-ヒドロキシエチル)アクリルアミド、N-(ヒドロキシエチル)メタアクリルアミド、N-アクリロイルモルホリン、N-メタクリロイルモルホリンの少なくとも1種からなることを特徴とする。

また、本発明の硬化物又は成型品は、上述した活性エネルギー線硬化性樹脂組成物を硬化して得られる。

さらに、本発明の硬化物又は成型品のデュロメータ硬さDタイプが75°以上であることを特徴とする。